

前回いただいた主なご意見

(市民への協働に関する意識啓発イベント 実施方法について)

		前回いただいたご意見(概要)
実施方法	ブース・パネル展示	(1)事例発表はせずに、ブースやパネル展示で発表をしてもらう。 (2)ブースの前にはテーブルを置いて、自分が興味のある事例のブースに行って団体の方と話を する。テーブルにはお茶菓子を準備する。 (3)ブースは4～5つで絞って、参加人数も少なくする。参加人数が少ない方が密な関係が築ける。 (4)例えば1回目は防災、2回目は子育てのように毎回テーマを絞って開催すると、それぞれのテー マに興味を持っている違うターゲットの方が来てもらえると思う。 (5)テーマを絞って開催することで、テーマの内容について関心を深めることができる。 (6)地域活動を始める上で、どこに行ったら支援があるという情報や、助成金の案内をするブース を市の担当部局で設ける。
	交流会	(1)運営側でグループは設定せずに、ざっくばらんな形式が良いのではないかと思います。 (2)2つの会場に分けると、小さな会場の方々が疎外感を感じたり、一体感がなくなってしまっ て盛り上がり欠けてしまう。少し会場がうるさいくらいでも、一会場に皆さんが集まった方がい いと思う。 (3)クールシェアスポットの説明会の際に、企業の方が作ってくださった円形のテーブルを囲んで 話をした。初対面であっても距離が近い分仲良くなれる。
実施回数	(1)年間を通して、数回開催する。 (2)1回で終わるのではなくて、同じ形式で2・3回開催する。	

令和6年(2024年)7月23日

タカラコラボラボ

TaCoLAB 資料2

その他	(1)このイベントの目的は、イベント後も継続して地域活動に参画してくれるプレイヤーづくりであるので、最初からそういう人が参加者と考えておけば、声をかける人が参加者であり発表者である。 (2)参加しやすい雰囲気をPRしたい。 (3)自己紹介はしない。参加者の名前もしくはニックネームをネームカードに書く。
-----	---